HULFT
CASE STUDY

HULFT-DataMagic

NTTコムウェア株式会社

低コストかつ短期間で導入できる点を評価し、業務プロセス管理システムのファイル連携部分にHULFT-DataMagicを採用

NTTコムウェア株式会社

低コストかつ短期間で導入できる点を評価し、業務プロセス管理システムのファイル連携部分にHULFT-DataMagicを採用

NTTコムウェアは業務プロセスを管理する社内オペレーションシステムにおいて、ファイルでのシステム間連携部分に2009年6月からHULFT-DataMagicを導入。これにより、他システムと連携したデータの取得・クレンジング・加工を容易に行えるようになった。ソリューションプロバイダである同社がHULFT-DataMagicを採用した最大の理由は、必要な機能を低コストかつ短期間で実現できる点を高く評価した結果だという。

NTTコムウェア株式会社
課長代理
増田 聡氏

User Profile

NTTコムウェア株式会社

本社
東京都港区港南1-9-1 NTT品川TWINS アネックスビル

営業開始
1997年9月1日

資本金
200億円

事業内容
情報通信関連のインフラ、ソフトウェアなどの設計・開発・運用・保守をはじめ、各種ネットワークサービス、情報提供サービスなどを幅広く展開

NTTグループの通信ネットワーク構築や情報システムの設計・開発などで培った技術力を活かし、幅広い顧客に対してブロードバンド・ユビキタスサービスの基盤構築をサポートするNTTコムウェア。2008年3月にNTTグループがNGN（次世代ネットワーク）の商用サービスを開始したことを受け、その普及・拡大を支援する同社の重要性はますます高まっている。なかでも同社が運用する業務プロセス管理システムは、迅速かつ的確な顧客サービスを提供する上で欠かせないもの。作業の進捗や関連する付帯作業などを管理し、オペレーションの効率化と顧客サービスの質の向上に役立てているからだ。

データの正規化と変換処理にHULFT-DataMagicを採用

業務プロセス管理システムは多様なシステムと連携し、膨大なデータを関連づけて「使える情報」の形にしてデータベースに格納している。「担当部門がそれを見れば、必要な作業の把握や進捗管理などが容易に行えるようになっています」と同社の増田 聡氏は説明する。

その中でファイルインタフェースにおけるシステム間連携において重要な役割を担っているのがデータ変換プロセスだ。膨大なデータから「使える情報」を形作るにはシステム間の連携によるデータの取得・クレンジング・加工の処理が必要になる。条件に合致しない不正レコードが混在していると処理が正しく行われなくなり、情報伝達のミスや現場のオペレーションに混乱をきたすことも考えられるからだ。

そのため、同社ではこの部分の処理スキームを自社開発のアプリケーションで対応していたが、システムの機能強化や情報項目の追加があるたび、データ変換用アプリケーションの更新が必要。開発や動作検証にはそれなりの時間と労力もかかる。「これらの課題に対応し、求められる要件によりスピーディかつ的確に対応する方法を模索していました」と増田氏は振り返る。そうした中、2009年1月にHULFT-DataMagicの存在を知り、データ変換プロセスへの適用を検討。同4月に導入を決定した。

同社は情報通信関連のソリューショ

ンプロバイダとして豊富な実績を持っている。自社の技術力と人的リソースで対応できるのに、どうしてパッケージ製品を使うのか—。当初、社内からはこうした指摘も投げかけられたという。それに対し、増田氏は「ソリューションプロバイダの視点からシステムの最適化を考えると、それが自社開発かパッケージ製品かは大きな問題ではありません」と話す。また同社では業務プロセス管理システムのデータ変換基盤となるアプリケーションサーバーにLinuxを採用するなど、システム全体でコストの最適化を図っている。最適なコストでいかにスピーディに求められる要件を実現するか—。ソリューションプロバイダとしての開発姿勢を自社システムにおいても徹底しているのだ。

「大切なのは、必要な機能を低コストかつ短期間で構築すること。その要件を満たすデータ変換ツールの答えが、HULFT-DataMagicだったのです」と増田氏は選定の理由を述べる。当初はETLツールの導入も検討したが、コスト的なハードルが高く、システム要件からすると機能も過剰なものだった。「それに対し、HULFT-DataMagicは低コストで、コンセプトが明確。こちらが求めている機能も網羅されています。導入の手間もそれほどかからないので、短期間で費用対効果が期待できます」(増田氏)。

オペレーションがスムーズに 自社の実績を今後の提案に活用も

導入プロジェクトは約2カ月で完了し、同6月にHULFT-DataMagicを適用した業務プロセス管理システムの本格稼働を開始した。現在、HULFT-DataMagicはデータの取り込みからクレンジング、データ加工、さらにデータベースに格納するまでの処理を担当。システム内のデータ連携機能として重要な役割を担っている。「特にデータのクレンジングは従来のスクラッチ開発に比べると開発が短期間で効率的に行え、性能面においてもシステムの要件を十分に満たしています」と増田氏は述べる。

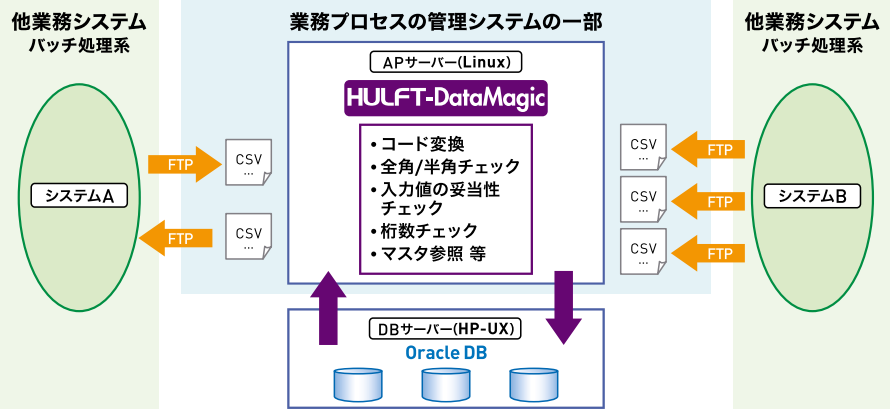

図1 業務プロセス管理システムのファイル連携イメージ
各システムから送られてくる膨大なデータをクレンジング・加工・分類した上でデータベースに格納し、システム間連携を図っている。

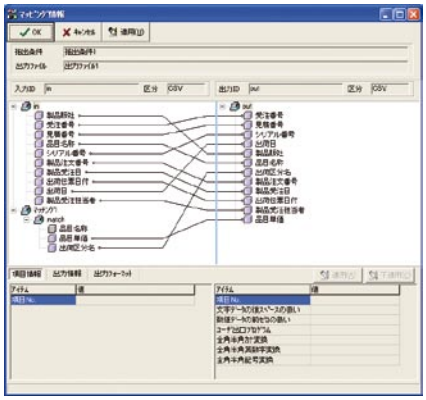

図2 HULFT-DataMagic サンプル画面
データ項目入れ替えや項目チェックなど、複雑なデータ処理もわかりやすいGUI画面で設定可能

またデータのクレンジングや加工の条件を変更する際、自社開発のアプリケーションの場合は新たに作り込みが必要だったが、HULFT-DataMagicはGUI画面から選択するだけで容易に条件を変更可能。「チェック対象の情報項目が追加・変更されても、すぐに条件を変更して対応できるので利便性、および生産性も向上しました」(増田氏)。

同社におけるHULFT-DataMagicの活用はシステムの最適化を考えた結果、行き着いた答え。それを自社運用で実証した形だ。お客様本位の視点で最適なシステムを提案していくことがミッションである同社にとって、今回の成果は今後のシステム開発における一つの選択肢になり得るという。「HULFT-DataMagicを採用した最大の理由は、必要な機能を低コストかつ短期間で実現できるから。お客様の求めるシステム要件を実現する上で、十分な運用効果が見込める部分には、私たちがお客様に対してHULFT-DataMagicを提案していくケースがあるかもしれませんね」。増田氏はこのように述べ、今後の可能性を示唆した。

お問い合わせ
株式会社 セゾン情報システムズ
HULFTフリーダイヤル 0120-80-8620
※利用時間 9:15～17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)
E-mail：hulft@saison.co.jp

この抜き刷りは日経ソリューションビジネス 2009年12月15日号に掲載されたものです。 無断転載を禁じます。

http://www.hulft.com/

●HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
●IBMi、AIX は、米国における米国International Business Machines Corporation の登録商標です。
●記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
●本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示（TM、®）を付記しておりません。

SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD.

［お問合せ先］
株式会社 セゾン情報システムズ
HULFTフリーダイヤル 0120-80-8620
※利用時間　9:15～17:45（土・日・祝日および年末年始を除く）

HULFT営業部
〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャイン60 21F
TEL 03-3988-5301　FAX 03-3980-4830

関西事業所
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16
肥後橋MIDビル4F
TEL 06-6479-1151　FAX 06-6479-1152

名古屋営業所
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル 21F
TEL 052-588-5591　FAX 052-588-5592

九州サテライトオフィス
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27
九勧博多駅前ビル
TEL 092-434-4527　FAX 092-434-4528

URL http://www.hulft.com/　e-mail hulft@saison.co.jp

このカタログの記載内容は、2010年3月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。

201003-3000-1